

2 年 次	前期	<p>12) 予備調査の結果に基づく研究計画修正についての指導助言。</p> <p>13) 上記5) 6) を継続</p> <p>14) 倫理審査委員会審査の申請に関する指導。</p> <p>15) 調査・実験等の実地指導。</p> <p>16) 調査・実験等データの解析と解釈に関する指導。</p> <p>17) 研究結果のまとめ方と考察，プレゼンテーションについての指導。</p> <p>18) 関連学会・研究会等で成果を発表させ，他研究者との討論を通して，見識と技量を磨かせる。</p> <p>19) TA として教育・研究に参画させ，当該分野の理解と技能を深めさせる。</p>	<p>12) 予備調査の結果分析を通して，研究内容を吟味し，研究計画の修正，確定を行った。</p> <p>13) 倫理委員会に申請し，承認を得た。</p> <p>14) 研究協力機関に協力を依頼し，研究計画書を提示し，説明・同意を得た。</p> <p>15) 研究計画に沿って本調査に着手した。</p> <p>16) これまでの結果を整理し，●●学会で発表した。</p> <p>17) TA として教育・研究に参画し，●●●分野の理解が深まった。</p>	<p>8) 研究計画を具体化し，順調に実施している。</p> <p>9) データの分析方法について，看護統計学演習の授業を再度，聴講するよう助言した。</p> <p>10) これまでの結果を●●研究会で発表するように指示した。</p> <p>11) 結果のまとめ方を指導した。</p>
	後期	<p>20) 上記16) 17) を継続実施。</p> <p>21) 論文中間発表会での他者からの意見も参考にし，論文作成の準備と作成に関する具体的な指導。</p> <p>22) 論文の素稿作成。</p> <p>23) 論文最終稿作成。</p> <p>24) 論文投稿に係る具体的指導。</p> <p>25) 学位論文審査に係る具体的な指導。</p>	<p>18) 論文中間報告会で報告し「●●●●」について助言を受けた。</p> <p>19) 上記18) の助言を参考に，「●●●●」の検討を行った。</p> <p>20) データの整備を進めるとともに，論文の素稿作成に着手した。</p> <p>21) 論文最終稿を作成した。</p>	<p>12) 修士論文の作成状況を確認し，修正を繰り返すよう指導した。</p> <p>13) 学位論文および関係書類の提出・確認</p>

※長期履修者は長期の年次で作成する。また，履修期間の変更（短縮）や休学などの場合はその都度履修計画の変更をして下さい。

※指導教員はこの様式を用いて、学生へ毎年次はじめに研究指導計画を明示して下さい。

※指導教員が学生に直接研究指導を行う内容・頻度の記載例：原則週1回ゼミでの指導，月1回研究の実施経過の報告を求め指導を行う等。

※作成後は指導の記録として各教員において保管して下さい。